

ウゴング道路拡幅計画（無償事業）

（1）事業背景

ケニア最大の都市であるナイロビ市の道路インフラは、市内の交通はもとより、モンバサ港を基点とする北部回廊の要衝としての機能を担っているが、人口の急増と車両数増加により交通渋滞が深刻化し、車両運行に影響を及ぼすとともに、維持管理費、交通事故、環境負荷の増加を招いている。その結果、地域住民は高い交通費の負担を強いられ、特に、多くの低所得者は公共交通を利用できない現状となっている他、地域住民の交通安全も問題となっている。

同市の人口は、2025 年には現在の 300 万人から 430 万人へ増加すると推測され、交通渋滞の更なる悪化による経済発展への影響が懸念されており、その改善が急務とされている。

かかる状況の下、我が国は 2006 年、ナイロビ都市圏の交通網改善を目的とした開発調査「ナイロビ都市交通網整備計画調査」を実施し、首都圏交通網の分析及び交通整備のマスタープラン策定を行い、特に早期に改善が必要な緊急プロジェクトのプレ・フィージビリティ調査(予備 F/S)を実施した。

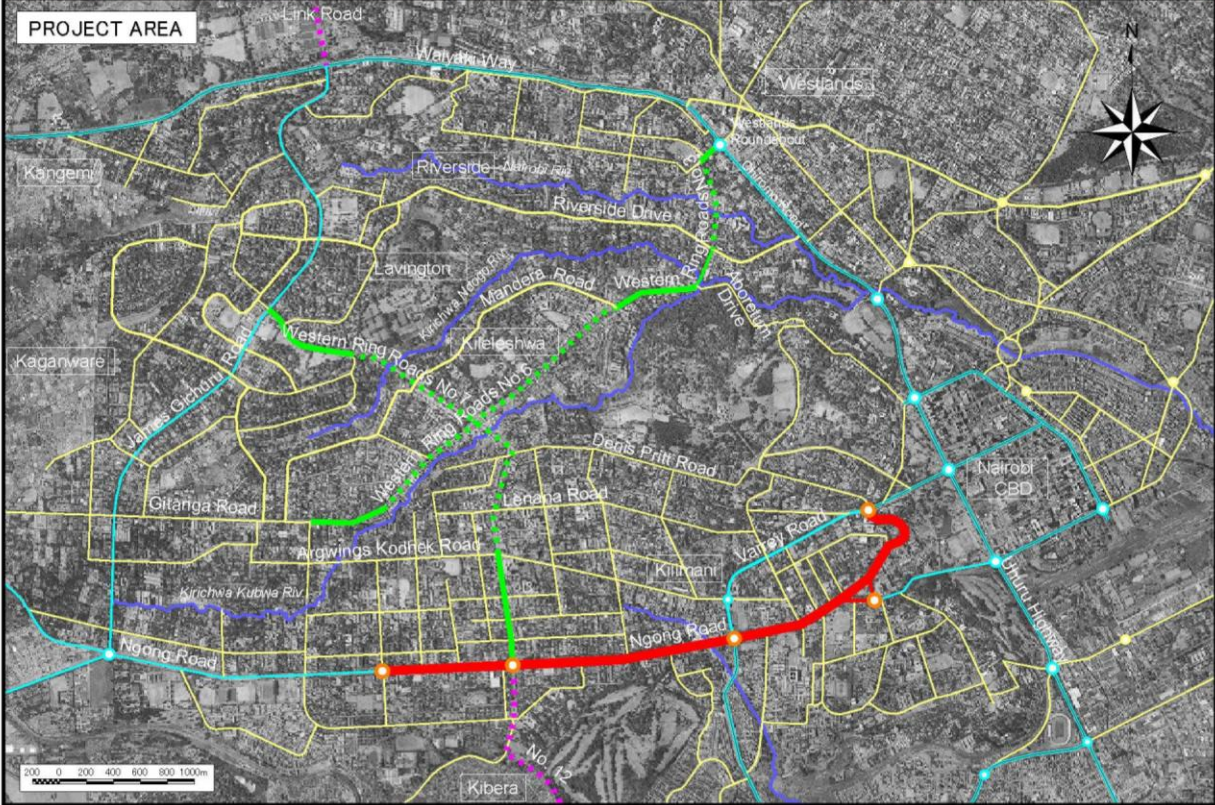
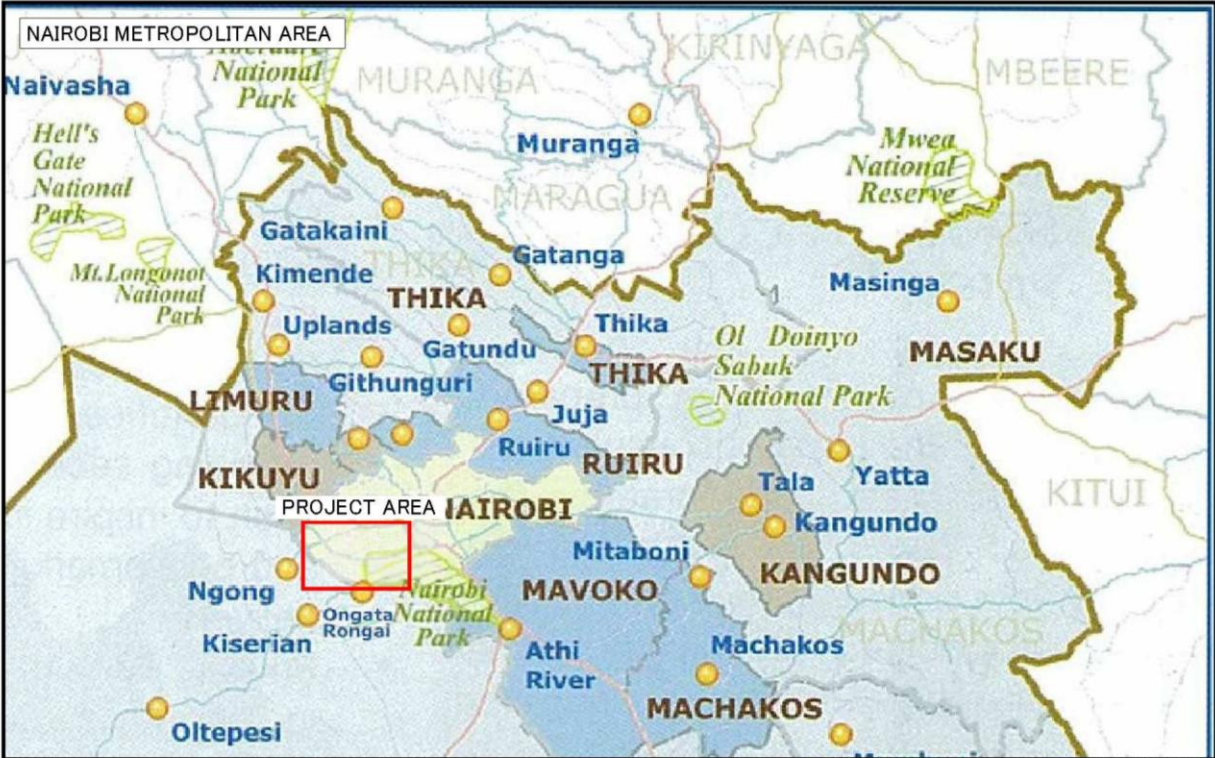
本件は、予備 F/S にて実施可能性を検討したウゴング道路の拡幅を行うもので、無償「ナイロビ西部環状道路建設計画」と併せて実施することにより、市内でも最も車両混雑の著しい対象地域における市民及び物資の移動に係る利便性の確保、及び市内中心部の混雑緩和に貢献するものである。

（2）事業目的

- ①ナイロビ市西部と中心部・東部地域区間の安全でスムーズな交通の確保。
- ②渋滞緩和による輸送コストの削減。
- ③歩道設置による交通者の移動の利便性、安全性確保。

（3）事業概要

- ①協力期間 2012 年 6 月－2015 年 2 月
- ②供与金額 15.66 億円
- ③協力内容
 - ・ ウゴング道路アダムス・アーケード交差点からウゴング道路/ケニアウッタ道路交差点までの約 4.7 km 区間の拡幅（2 車線道路の 4 車線化）
歩道、排水、信号機設置を含む
- ④事業実施機関
ケニア都市道路公社（Kenya Urban Road Authority: KURA）



LOCATION MAP